

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄					
								評価	人数	コメント			
学 校 別 力 目 標 ・ 教 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	保護者対象アンケートにおいて「授業はわかりやすく、よく理解できる。」と回答した割合	4:	○ICT機器を活用した新たな教材や学習活動等を取り入れ「個別最適な学び」や「協働的な学び」の充実に効果を上げるために校内研修会を行う。	A	2	・教師の皆さんが楽しめるかどうかは管理職の先生方にかかっていると思います。ここから満足度が上がるよう期待しています。 ・ウェルビーイングを推進して下さい。 ・「教職員の業務適正化」への取り組みの自己評価が低いようだが、具体的にどのような問題があり、どのように適正化しようとしているのかわかっているつもりだが、保護者と先生・学校との間で認識にずれがないようにしたい。			
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								3	3:	
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										2:
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	3:	2	○校内で研究授業を行い、また、外部講師を招いた研修会を行い授業力の向上を図る。 ○校内で相互の授業見学を活発に行い、OJTを充実させる。	B	3						
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。												
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。												
③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。	1	2:	1:	○研究会・研修会に計画的な参加を推奨し、その成果を授業改善に生かす。 ○分かりやすい授業、興味関心を高める授業を目指し、ICT機器を活用した授業を展開する。	C	1						
	3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。												
	2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。												
	1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。												

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価	人数	コメント
た 自 個 別 の 目 標 ・ 学 び を い き ま す と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	2	生徒対象アンケートにおいて「学校の雰囲気は明るく、毎日、学校に行くのが楽しい」と回答	4:	○「共生社会」の実現のため、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、多様なあり方を認め合う学びの場を設ける。 ○特別支援教育について、担任と校内委員会が連携し、組織的に推進する。	A	2	・生徒一人ひとりの状況に合わせた対応で、自分らしくいきいきと生きられる地盤を引き続き作創っていただきたい。 ・特別支援教育についてはこれまでの取組と改善策を合わせて進めてください。 ・「いじめは許さない」と学校としてはっきりと示しており、また、いじめは起こり得るけれども、学校としてきちんと対応することを保護者にも折に触れて話してくれているので、信頼している。 ・相談できる環境、雰囲気もとても大切だと思います。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。	3	3:	3	○WEB、QUやメンタルヘルスチェックの結果を基に、SCとも連携し、組織的に生徒に対して組織的に対応する。 ○問題行動・不登校問題等について行われた会議の内容は、知るべき教職員が必要な情報を確実に共有できるように努める。	B	3			
	3:80%以上100%未満の教員が回答した。									
	2:60%以上80%未満の教員が回答した。									
	1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。									
③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	2:	C	○人権尊重を基盤に「学校には、感動がある」「いじめは許さない」「相談しようよ」をキーワードとし、生徒・保護者や地域の信頼に応える					
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄										
								評価	人数	コメント								
安柔個別なで目教創標育造6環境的な育つ習くり間と安全・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	1	保護者対象アンケートにおいて「学校は、環境美化に積極的に取り組んでいる。」と回答した割合	4:	○生徒が安心して、落ち着いた学校生活を送るために老朽化に対して修繕しつつ、全職員で環境美化に対する意識を高める。 ○教職員が同一歩調で指導にあたることができるように、実際の指導の経過・結果を十分に共有し、教員各自の生活指導に反映させる。 ○生活指導部を中心に、全校朝礼や学年・学級指導において安全指導を行い、生徒の安全に対する意識を高め、身を守る知識・技能を身に付けさせる。	A	4	・防災訓練に授業として参加しているが、それで終わり、翌年は不参加だと思います。一般参加をお願いしたいです。 ・学校施設については特に問題を感じたことはない。時々しか学校に行かないが、整然として学習環境整備についても力を注いでいる。 ・生徒会が一生懸命取り組んでいるように思います。								
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			2					3:							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								1:							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								1:							
大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄										
								評価	人数	コメント								
								学地学個別校域校別をコ・ミ家庭ブリニ・地域すの核連携しての協働による	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	2	保護者対象アンケートにおいて「学校は、学校行事などに地域の協力を得ている。」と回答した割合	4:	○学校運営協議会において、校内見学や授業参観を実施し生徒の学習活動の様子を直接見ていただいた感想や意見を教員の授業力の向上につなげる。 ○外部人材の招聘や校外の体験学習について、学校支援地域本部の力をかり、生徒に様々な経験を積ませる機会を作っていく。その際、保護者に情報提供を行っていく。	A	3	・学校と家庭、地域が連携し、つながりを感じられる環境の醸成により、全体で子ども達を育成していきましょう。 ・家庭と報・連・相を確実に実施してください。 ・学校公開や授業参加では、現在学校が重点的に取り組んでいる指導や授業設計のポイント等をあらかじめ保護者に知らせておけば、そういう点を特に意識して参加するのではないかと。 ・外部人材の招聘や校外の体験学習について、学校支援地域本部と協力してすすめるのはよいと思う。生徒が主体となって、どういう人の話を聞いてみたいかを考えるのもよいかもしれない。 ・学校運営協議会では、現在の学校や生徒が抱えている問題があればそれらを共有してともに考え解決していければよいと思う。 ・学校としてどれぐらいを目標としているかにもよるが、仕事体験や、部活動・生徒会の地域イベントの参加などを通じて、比較的よく地域との関わりももっているのではないかとと思う。 ・地域との連携を更に強化し、風通しの良い環境での学校生活が送れるように対応する。 ・外部コーチなどが入ってくださっていてありがたいと思います。学校によって偏りがあったり、特色が違うと思います。難しいことも多いですが、子どもたちのために良い方々が来てくれることを願います。
											3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			2				
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2:																	
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1:																	
特色ある取組	地域とのつながりを大切にする機会をつくります。	防災教育の充実を進め、生徒の理解を深めることによって避難所と避難場所の運営に貢献できる態度を養う。	4:全学級で働きかけた。	2	*生徒・保護者を対象としたアンケート調査を実施し、地域とのつながりに関する回答結果の状況で判断する。	4:	○校内や地域の活動、地域のイベントに積極的に参加できるようにする。 ○避難所運営訓練に2学年の生徒が参加し、防災意識を高めるとともに地域に貢献する態度を養う。			・地域の活動への魅力を積極的にアピールしてもいいのでは。避難所運営訓練参加後の生徒たちの反応を開示してもいいのでは。								
			3:80%以上の学級で働きかけた。			2					3:							
			2:60%以上の学級で働きかけた。								2:							
			1:働きかけた学級は60%未満であった。								1:							